

魅力ある学校づくり地域協議会通信

発行 魅力ある学校づくり地域協議会支援会議
宇都宮市教育委員会事務局生涯学習課

1 平成28年度「第1回地域コーディネーター研修会」の報告について

主に新任者や経験の浅い地域コーディネーターを対象とした標記研修会(市生涯学習課, 魅力ある学校づくり地域協議会支援会議共催)が, 平成28年6月29日に市教育センター1階コミュニティホールで, 42名の関係者の方の参加を得て開催されました。

第1部 事業説明「魅力ある学校づくり地域協議会と地域コーディネーターの役割」

宇都宮市教育委員会事務局生涯学習課 主任主事 田井邦洋

○「魅力ある学校づくり地域協議会」活性化実践事例集を活用しながら, 魅力ある学校づくり地域協議会の組織および地域協議会活動の目的のほか, 地域協議会活動の内容, 地域コーディネーターの役割について説明を行いました。

○「魅力ある学校づくり地域協議会」活性化実践事例集とその活用方法について紹介しました。

第2部 活動事例紹介

岡本西小学校 地域コーディネーター 渋井正夫 氏 (コーディネーター活動で心がけていること)

- 岡本西小学校地域協議会は, 4つの隊(部会)から構成されている。学校からの依頼による活動と, 各隊の独自計画による活動の2パターンの活動がある。
- 学校からの依頼による活動については, その活動内容や要望内容を明確にするとともに, 学校から地域コーディネーターへの依頼をしやすくするため, 専用の様式(ボランティア活動依頼書)を作成し, 活用している。
- 地域の協力者を増やすためにも, 地域住民との接点を大切にし, 自治会活動や地域のお祭りに積極的に参加するほか日常的な挨拶や会話を大切にしている。



清原中学校 地域コーディネーター 林文子 氏 (学校や地域の協力者との関わり方)

- 清原地区は学区が広く, また自転車通学の生徒が多い地域であるため, 登下校時の安全確保が特に必要な地域と考えており, 学校の先生だけでなく地域協議会の委員, PTA役員が協力して青色防犯パトロールを毎月2回行っている。
- 地域協議会委員および大学生を含む地域の方の協力のもと, 小・中学生が中学校への宿泊体験を行う「清原の杜地域体験キャンプ」を実施している。地域に小学校から大学まで揃っているという強みを活かした活動となっている。
- 学校や地域と密に連携しながら, これらの地域協議会活動へ協力してくれる地域の方との連絡調整を地域コーディネーターが担っている。

峰小学校 地域コーディネーター 木村真理子 氏 (地域コーディネーターの魅力)

- 小学校の養護教諭と連携した児童の歯垢染めのお手伝いや, 教育相談期間中に校庭で遊んでいる児童の見守り, 企業と連携した「お掃除教室」など多くの活動に取り組んでいる。
- 働いている保護者でも, 学校のためになることをやりたいと思っている人は沢山いる。希望する

保護者を対象に、自宅で空いた時間に協力できる掲示物の工作をお願いする「おうちでボランティア」を実施している。保護者と子どもと一緒に作ることができるよう、地域コーディネーターが作った見本も同封しており、手間はかかっているが、各家庭から感謝の声をもらえることが嬉しい。

○地域協議会での様々な活動をとおして出会った沢山のひととの繋がりが財産となっている。

陽東小・陽東中学校 地域コーディネーター 山田葉子 氏（地域コーディネーター活動を始める人へ）

○これから地域コーディネーター活動を始める人たちへ、「情報共有の大切さ」を伝えたい。学校の先生や地域の方、ともに活動する仲間（地域コーディネーター）、地域協議会委員との情報共有を大切に、困った時に助けてくれる人を増やしてほしい。

○陽東地区では、コミュニティカレンダー（8年目）を発行して地域や家庭との情報共有を図っている。継続して情報発信していくことで、地域協議会の存在が認識され、今年度のカレンダーには企業も含め7件の協賛広告を掲載することができた。

○地域コーディネーター活動を始めて9年目になるが、それでも知名度は低い。学校の先生でさえ地域コーディネーターの名前や存在すら知らない人もいる。地域コーディネーターの存在を学校や地域に積極的にアピールするためにも、名刺を作成して有効に活用していただきたい。

第3部 情報交換会

「地域コーディネーター活動の悩みと工夫」をテーマに、情報交換を行いました。主な内容を紹介いたします。

悩み	工夫していること
今年から地域コーディネーターになったばかりなので、活動の進め方が分からない。	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で悩みを抱えないで、学校の先生に相談してみる。 ・複数の地域コーディネーターがいる場合は、地域コーディネーター同士で相談してみる。
地域協議会活動への協力者や後継者が足りない。	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から、PTAを卒業する人と連絡を取るよう心がけ、引続き協力してもらえるようコミュニケーションを取る。 ・回覧板等に留まらず、人から人への声かけにより協力者を集める。
学校の要望の吸い上げが難しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携教員と話をする機会を沢山持ち、学校側と地域コーディネーター側の意見のすり合わせを行う。 ・地域コーディネーターから提案をしていくことも大切。
学校や地域に、地域コーディネーターの存在をアピールしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは学校へのアピールから始めると良い。職員会議の中で地域コーディネーターの自己紹介や活動紹介の時間を取ってもらう。 ・地域協議会の会議の際に、自治会関係者等とコミュニケーションを取る。 ・地域のお祭りなどに積極的に参加して、顔を知ってもらう。

2 平成28年度「新任校長研修」の報告について

市教育センターが主催する標記の研修会の中で、15名の新任校長を対象に、魅力ある学校づくり地域協議会についての講話が行われましたので、その概要をお知らせいたします。

宇都宮市教育委員会事務局学校教育課 指導主事 金田操

○地域協議会の活性化は、教育委員会重点事業とされている。

○地域協議会の活動の意義は、地域の子どもの育ちについて学校・家庭・地域が連携して各々の役割を果たすことにあり、学校は地域協議会と協力して「地域とともにある学校」を実現することが求められている。

